

診療放射線技師専門研修

研修名：血管撮影専門研修

対象者：血管撮影領域の撮影技術と被ばく管理および品質管理について、技術習得を希望する診療放射線技師。

研修目標：

- (1) 専門的な知識と技術を習得し、高度な血管撮影およびインターベンションの支援を円滑に行う。
- (2) 放射線安全管理を実施し、患者および医療スタッフの被ばく低減に努める。
- (3) 血管撮影用エックス線装置および関連機器・器具などの品質保証・品質管理を習得する。
- (4) チーム医療の一員としてその責務を果たす。
- (5) 自施設および地域で教育・指導ができる人材を育成する。

研修方法：

主に実習形式による研修を行い、必要に応じて講義およびディスカッションを行う。

研修プログラム 1 (1 週間)

心臓カテーテルおよびアブレーション	
1	日常臨床における心臓カテーテル検査・治療およびアブレーションの撮影・IVR の支援
2	臨床画像読影およびエックス線解剖学
3	被ばく管理
4	血管撮影装置の概論と品質保証・品質管理
5	周辺機器の概論と臨床技術
6	医療安全・感染対策・チーム医療

研修プログラム 2 (1 週間)

頭頸部血管撮影および IVR	
1	日常臨床における頭頸部領域の血管撮影・IVR の支援
2	臨床画像読影およびエックス線解剖学
3	被ばく管理
4	血管撮影装置の概論と品質保証・品質管理
5	周辺機器の概論と臨床技術
6	医療安全・感染対策・チーム医療

研修プログラム3 (1週間)

胸腹部血管撮影および IVR	
1	日常臨床における胸腹部検査・治療の撮影・IVRの支援
2	臨床画像読影およびエックス線解剖学
3	被ばく管理
4	血管撮影装置の概論と品質保証・品質管理
5	周辺機器の概論と臨床技術
6	医療安全・感染対策・チーム医療

備考

- 1) 原則として、1プログラムにつき1週間単位での受講となるが、受講期間は相談に応じます。
(例：連続した1週間での受講は困難なため、都合のつく5日間で受講したい)
- 2) プログラム内容についても相談に応じます。(例：品質管理・品質保証については十分な知識を持っているので、撮影・IVRの支援を重点的に受講したい)